

令和3年度（生田高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

取組課題	目標	実施結果と目標の達成状況
1 法令遵守意識の向上	職員行動指針の周知・徹底により、公務員として絶対に不祥事を起こさないという法令遵守の意識を向上させる。	法令遵守意識の向上を目的とした不祥事防止研修を9月と3月に2回実施した。メンター制を導入し、経験の浅い教職員や、臨時的任用職員に対しての相談体制を整えた。
2 職場のハラスメントの防止	人権意識を向上させ、他者の思いへの気づきを促し、良好な職員間の人間関係を構築する。	10月に行った校内人権研修会では「インターネットを悪用した人権侵害」について外部講師による研修を行った。また、ハラスメントの防止を目的とした不祥事防止研修を5月と3月に実施した。
3 わいせつ・セクハラ行為の防止	日々の言動に留意し、セクハラ・わいせつに係る事故・不祥事を根絶する。	不祥事が報道された際には、朝の打合せや職員会議でその事案に係る具体的なイメージが持てるよう説明し、自分ごととしてとらえるよう促した。定期的な管理職の巡回により、密室での指導を防止した。7月に行った教員のわいせつ事案に関する校内研修会では①職員の同僚性②使命感③未然防止、早期発見するための体制づくりについて全職員で話し、その結果を確認した。
4 体罰、不適切な指導の防止	体罰は子どもの人権を損ない、子どもとの信頼関係を根底から覆すものであるという意識を職場全体が持ち、未然防止に向け職員間で互いに相談し合える風通しの良い職場づくりを実現する。	スクールカウンセラーの相談内容の教育相談CO、クラス担任等による振り返りを丁寧に行うことで支援の充実のみならず、不祥事防止につなげた。8月に、体罰、不適切な指導の防止に関する不祥事防止研修会を行った。

5	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る適切かつ効率的な作業・点検体制を整え、事故の未然防止に職員一人ひとりが自覚を持って取り組む。	要項にそって丁寧に業務を行うことで入学者選抜は事故なく終了した。調査書について、本年度はコロナウイルス感染症に係る変更があったが、丁寧に確認し、確実に発行した。学校推薦型選抜においても手順を確認し、確実に推薦を行った。6月には定期試験・成績処理に関する不祥事防止研修会、1月には入学者選抜に関する不祥事防止研修会を行った。
6	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	文書等の適正な管理を徹底し、個人情報の不適切な取扱いや流失等の未然防止を徹底する。	個人情報の管理、情報セキュリティ対策に関する不祥事防止研修会を6月と9月に実施した。
7	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールや交通マナーの遵守し、交通事故を防止する。	11月に飲酒運転の根絶に向けての不祥事防止研修会を行った。
8	業務執行体制の確保等	不祥事防止研修会等を通して、職員の意識向上とモラルの維持を図り、事故・不祥事を防止する。	1月に映像資料を使った職場討議を行い、またその意見を全体で共有することで職員の意識向上とモラルの維持を図った。
9	会計事務等の適正執行	私費会計基準に則った適正かつ迅速な会計処理を行い、会計事務に係る事故を防止する。	執行者の押印を廃して署名とし、押印は会計担当者、会計担当グループGLに加えて、執行者の所属のリーダーも押印するように会計書式を改めた。11月に適切な会計の取扱いに関して不祥事防止研修会を行った。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

神奈川県教育委員会不祥事防止啓発・点検資料を用いた不祥事防止研修会や、不祥事防止のテーマに応じた職場討議、意見共有などを行うことで職員の意識向上を図った。また日頃から、朝の打合せや職員会議の校長ペーパーで不祥事防止研修を行った。ヒヤリハットを含めた事例に触れながら繰り返し確認することが不祥事防止につながる。次年度も風通しのよい職場づくりに努め、職場全体で不祥事防止に努めていく。